

## 感染防止対策チェックリストQ&A

### ■ 全般

Q1 必ず全ての項目をチェックしないとだめなのか。

(答) 感染症対策は、どこかに大きな穴があると、効果が得られません。そのため、基本的に、全ての項目をチェックできるよう対策をお願いします。

しかし、完全な実施が困難なものについては、可能な範囲で取り組むことで、チェックしていただいて支障ありません。

どうしてもチェックできない項目については、代替措置を余白に記入して下さい。

### 1 「三つの密」を避ける

Q2 換気は必ず2方向で行う必要があるか。

(答) 1方向のみでの換気は非常に非効率との知見がありますので、基本的に2方向換気をお願いします。構造上不可能な場合、扇風機やサーキュレーターを組み合わせ、効果的な換気を行って下さい。

(参考)[https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/special-program\\_0617/](https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/special-program_0617/)

Q3 密閉した部屋は、全く使用できないのか。

(答) 換気のできない密閉した部屋は、物置等としての使用は問題ありません。客席としての使用は不可です。

Q4 全ての客を横並びで座らせる必要があるか。

(答) 相席を想定したテーブルについては、横並び配置として下さい。必ずしも全ての客を横並びにする必要はなく、千鳥配置、間隔の確保による対応も可とします。

また、同居家族など、店外で常に接触しているグループについては対面配置でも支障ありません。

Q5 対面した配置は絶対に不可能か。

(答) 同居家族など、常に接触しているグループについては対面配置でも支障ありません。なお、千鳥配置は感染防止に有効との知見があります。

Q6 入場人数はどの程度制限すべきか。

(答) 店内で十分な間隔を空けたうえで想定している満員を越えた場合、小さい飛沫等が換気で管理できなくなることや、想定していない場所からの接触感染の発生が懸念されます。想定した満員を越えない制限をお願いします。

Q7 十分な間隔とは。

(答) 飛沫感染を効果的に防止するため、1メートル以上（できれば2メートル）の間隔が必要です。

## 2 その他

Q 8 発熱や風邪がある者は、必ず入場制限をしなければならないか。

(答) 基本的な感染管理として、有症状者を店に入れないことは非常に重要です。

まず、従業員に対しては、完全な実施をお願いします。客に対しては、実施困難な場合は、可能な範囲での実施や、注意喚起の掲示でも可とします。

Q 9 マスク着用は客にも求めるものか。

(答) マスク着用は、飛沫飛散防止に非常に効果的です。従業員に対しては、完全な実施が必要です。

客に対しても、食事していないときは着用を求めることが望ましいですが、実施困難な場合は、注意喚起の掲示やアナウンスでも可とします。

Q 10 ユニフォームや衣服の洗濯頻度はどの程度か。

(答) 洗濯は、食品衛生の側面からも重要です。毎日行うことが基本となります。

Q 11 休憩スペースの利用人数はどの程度とすべきか。

(答) 従業員のみが使用する休憩スペースは、狭いことが多く、3密となりやすいです。1人あたりのスペースが最低2㎡以上となることが望ましいですが、従業員の健康管理を徹底したうえで、休憩室における出入り時の手指消毒やマスク着用などの感染防止対策を強化する場合、これまでの人数での使用を可とします。

Q 12 利用者の連絡先の把握は必須か。

(答) 万が一感染が起こった場合、連絡先の情報は拡散防止に非常に重要となりますので、基本的に実施をお願いします。

ただし、どうしても困難な場合は、従業員全員が接触確認アプリ(COCOA)をインストールしたうえで、当該アプリのリーフレットをメニュー等に掲示し、客にインストールを促すことでも可とします。

なお、客がCOCOAをインストールすることは、従業員を守ることにもつながりますので、積極的な呼びかけをお願いします。

Q 13 利用者の連絡先はどの程度の期間保管すべきか。

(答) 1ヶ月を目安に破棄してください。

Q 14 BGMの調整は必要か。

(答) 大声を出すことは、コロナウイルス感染において大きなリスクとなることが分かっています。客や従業員が大声を出さないような環境を整えることが重要です。

Q 15 大皿料理提供は不可か。

(答) 会話による飛沫が食器や料理を汚染し、そこから感染が拡散することを防ぐ必要があります。例えば、大皿で料理を提供しても、手指殺菌が行われ、すぐに取り分けが行われ、使用したトング等が

毎回取り替えられる場合は、汚染リスクは低いので、そのような呼びかけを客に行う代替措置は可能です。

Q 1 6 客への感染防止対策の励行は必須か。

(答) 客に言いにくい状況としても、感染防止のために可能なことを、できることから始めて下さい。特に大声による飛沫の飛散は大きく、これらを少なくすることが重要です。直接のお願いができない場合、掲示やアナウンスでも良いので、実施をお願いします。

#### 【接待等を伴う遊興施設関係】

Q 1 7 接待はできないということか。

(答) マスク着用、千鳥配置での着席、1m以上の距離の確保、パーテーションの設置等での対応が可能です。

#### 【カラオケボックス関係】

Q 1 8 マスク装着は必須か。

(答) 基本的には装着をお願いします。同居家族のみでの利用など、店外で濃厚接触しているグループについては、必ずしも装着を求めませんが、機材の消毒は留意して下さい。

#### 【パチンコ店関係】

Q 1 9 遊戯機は何台おきに停止すべきか。

(答) 隣に飛沫が飛散しない距離が必要です。そのため、パーテーションの設置や、マスク着用の徹底により代替が可能です。